

ADHD の障害受容について

仲村 信一郎 (障害者職業総合センター 研究部門;原稿提出時)

1. 目的

知的障害を伴わない軽度発達障害者を就労支援する実務者の課題の1つとして、家族や本人が障害の存在や障害特性を理解することが難しいという障害受容の問題がある。

特に、ADHD(注意欠陥多動性障害)については、以前は児童期でおさまる障害と思われたこともあり、わが国では、研究資料の乏しさから、成人期にも ADHD は存在するとかいえない現状である(齋藤ら,2008)。

そこで、ADHD について先進的な取り組みをしているアメリカから障害受容の参考となる情報収集を行うこととした。

2. 方法

翻訳されている著作を含め、アメリカの海外文献を中心に ADHD の障害受容に関する情報収集・分析を行う。

3. 結果

ADHD の障害受容の考え方には4つのタイプが見られた。ADHD にも従来の「悲嘆の受容サイクル」の障害受容を当てはめた「従来型」と、多くの臨床体験から従来型を発展させた「発展型」と、ADHD の特性から肯定的な考えを強調した「オリジナル型」、以上3つの考えを踏まえた「バランス型」である。以下に、4つのタイプを解説する。

(1) 従来型;「悲嘆の受容サイクル」5段階

①Solden, S. (1995)の「悲嘆の受容サイクル」

従来の障害受容の概念(エリザベス・キューブラー・ロスの悲嘆のステージ; 1)否認、2)怒り、3)取引、4)落ち込み、5)受容)を ADHD の診断の受容過程に当てはめている。

②Weiss, L. (1996)の「アイデンティティ形成5段階」

障害受容の段階をアイデンティティ形成の段階として記述している。第1段階は、さんざん苦しんでいた人が ADHD と分かった時の安心感で、第2段階は、悲嘆反応段階で、第3段階は、自分とよく似たほかの人たちを見つける段階としている。第4段階は、本当の自分がどんな人間なのかを知るための段階だという。第5段階では、「ADHD をうまくコントロールできるようになった後の自分」を考え、自分の環境を見直す必要があるという。

(2) 発展型; Solden, S. (2005)の「3つの旅」

ADHD の診断後の障害の受容を3つの旅、つまり進歩の3段階として記述している。以下に簡単に内容を記す。

診断を受ける前の「混乱の危機」は、診断直後、一時期、安堵と希望で高揚する。そこから始まる第一の旅(障害受容の第一段階)では、診断によって「理解の危機」を迎えるが、薬物治療により脳を治療し、症状軽減することである。第二の旅(障害受容の第二段階)では、治

療の焦点が、歪んだ自己イメージの修正と自分を知って「アイデンティティの危機」を解決する。第三の旅(障害受容の第三段階)では、「成功の危機」であり、自分の「地」を出しながらも自分をうまくつづさないようにメンテナンスする練習をする。

(3)オリジナル型;Hartmann(1997)の「狩猟民・農耕民仮説」

Hartmann は、自ら ADHD であることを公表しており、自分の息子の障害受容のために狩猟民・農耕民仮説を生み出した。ADHD の特性を人類の「狩猟民」としての遺伝子の特性と捕らえ、ADHD でない人々「農耕民」の社会で、ADHD を活かして生きるという肯定的な視点を提供している。

(4)バランス型;Nadeau,K.(1997)の「就労支援からのバランス視点」

自分自身が ADHD の精神科医の Hartmann や Hallowell は、ADHD の肯定的側面を強調しすぎ、深刻な苦悩が伝わらなかつたり、障害の理解や治療アプローチの改善が矮小化されることを心配したりする人もいる。しかし、ADHD の成人にとって、ADHD の問題の側面にだけ焦点を当ててではなく、ADHD の肯定的側面を認識して、自分の能力を正当に評価することは大切と就労支援の点から述べている。

4. 考察

言うまでもなく、障害の受容の過程は個人にとって違いはあるが、支援者は ADHD の障害受容の特徴を踏まえて、本人が ADHD の障害特性を理解することを心理教育的に支援し、自らの課題への対処法を身につけて、自己管理できるように支援していくことが大切なことである。

5. 文献

Hartmann,T.(1997),片山奈緒美訳(2003):「ADD/ADHD という才能」,ヴォイス

Nadeau,K.(1997):”ADD in the Workplace”,Taylor& Francis Group

齋藤万比古・渡部京太編(2008):「第3版注意欠如・多動性障害-ADHD-の診断・治療ガイドライン」,じほう

Solden,S.(1995),ニキ・リンコ訳(2000):「片づけられない女たち」,WAVE

Solden,S.(2005),ニキ・リンコ訳(2005):『「片づけられない人」の人生ガイド』,WAVE

Weiss,L.(1996),ニキ・リンコ訳(2002):「片づけられない人のための仕事の本」,WAVE

(キーワード、ADHD、障害受容、アメリカ)
発表者氏名;ナカムラ シンイチロウ